

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	令和3年度 第2回 嬉野市総合計画審議会		
開催日時	令和4年3月17日(木) 13:30~17:00		
開催場所	嬉野市役所塩田庁舎3-2 会議室		
会議の公開の可否	☑ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員 (敬称略)	山口健一郎、筒井靖明、永田由美、坂口典子、 戸田順一郎、副島篤子、谷山佳世、井上晃太郎、宮崎杏美	
	事務局	企画政策課長、副課長、主任	
	その他		
会議の議題	①事務局より(総合計画編成について) ②「総合計画後期基本計画」の検討		
配布資料	①第2次嬉野市総合計画後期基本計画(案) ②SDGs資料「持続可能な開発のための2030アジェンダ(仮訳)」 ③次第		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	1. 「総合計画後期基本計画」の検討		

内 容	<p>1. 事務局より総合計画編成について</p> <p>2. 後期基本計画について事務局より説明。委員質問・事務局回答、委員の意見等</p>	
審議経過	<p>事務局</p> <p>議長</p> <p>事務局</p> <p>議長</p> <p>事務局</p> <p>議長</p>	<p>1. 事務局より総合計画編成について</p> <p>それでは、事務局より「後期基本計画」をどのようにして編成していくかの方針を説明させていただきます。</p> <p>お配りしている後期基本計画書には、赤字で修正箇所が記載してあります。これは、前回の審議会でご指摘いただいた点や、市役所各課より上がってきた修正点、総合戦略を加味して修正した点、市長の公約等から修正を加味した点などが該当します。これを基に適否や足りない点などご審議いただければと思います。</p> <p>2. 後期基本計画の審議</p> <p>それでは、大まかな進め方をご説明いただければと思います。</p> <p>今回の後期計画（案）での一番大きな変更点は、目標値となるKPIを個別に設定しない方向で作成しております。その代わりに、市民のみなさんの市への愛着度、幸福度、嬉野市に住み続けたいと思う方の割合という、一番向上を目指さなければいけない目標を設定しています。</p> <p>先ずは、そちらからご議論いただければと思います。</p> <p>そしてその後、分野別の計画を各ブロックごとに説明させていただいてご議論いただきたいと思います。</p> <p>個別の各分野が終わりましたら、分野横断計画について議論いただければと思います。</p> <p>それでは、一つ目のパートの成果指標について説明をお願いします。</p> <p>成果指標について、これまでは47項目の目標値を設定して計画の達成度を計測していましたが、新型コロナウイルスの拡大によって、約半数の指標の成果が上がらず次の目標も定められないような結果になっております。</p> <p>また、総合戦略やその他の個別の計画によって、それぞれの分野の個別目標を設定していますので、そういったところと二重になってしまっていて、総合計画とその他の計画の見直しスパンが違うことによって、目標値が分かりにくくなってしまっています。</p> <p>それで本来全体的な計画である総合計画としては、全体的な目標である「市民のみなさんの市への愛着度」「嬉野市に住み続けたい人の割合」「幸福度」の3つに絞って成果目標を立てるよう提案をさせていただきます。</p> <p>ここで提案させていただいている3つの成果指標の目標値は、前回、約4年前にアンケートを取った際の数値です。3つの指標については、徐々に低下していますので前回値までは回復させたいという願いから数値を設定させていただいています。</p> <p>成果指標について、前期計画にあったものを今回無くすという大きな変更だと思えます。</p> <p>新型コロナウイルスによって、なかなかデータが取り辛いということもありますが、それ以上に、総合計画で個別の目標立てるということについて考え方を変えているということですので、皆さんからご意見をい</p>

	<p>ただければと思います。総合戦略に残してある個別の目標との整合性というところも大きいと思います。</p> <p>では、ご意見をお願いいたします。</p>
事務局	<p>8年間の総合計画の後期にあたるという事で、大きな変革だと思って居ます。関連性のある総合戦略では約60項目の個別の指標を立てています。総合計画の前期計画と重複する部分もかなりあります。策定や見直しの時期が違うことで目標がかなり分りにくくなってしまっています。個別の数値については総合戦略で測定していき、大きな目標は総合計画の目標とするような変更です。</p>
議長	<p>参考までに、前期の総合計画にあって総合戦略に無い分野というのはどういう部分になりますか。</p>
事務局	<p>総合戦略は「まち・ひと・しごと」の好循環による成長を目指したものになりますので、総合計画にあるような財政目標だったり、市税の徴収率などの行政の運営上の目標だったりというものは載っていません。あとは、行政改革の部分で市職員の残業時間を減らしていくような目標は総合戦略には無いということになります。</p>
議長	<p>わかりました、皆さんご意見ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>観光協会で取り組んでいるDMOの確立というところで、計画をたてなければいけないんですけども、その中では必ずKPIを入れなさいということになっているんですね。それで、市と連携を取りながらやっていくことになるんですが、総合戦略に観光関連のPKIが載っているかわかりますか。必要なのが「旅行者の消費額・延べ宿泊者数・来訪者満足度」になります。来訪者満足度はアンケートを取っているの。あとは「リピーター率」の4項目になります。</p>
事務局	<p>総合戦略との関係性をお話しさせていただきましたが、各分野でも計画を立てていて、観光であったら観光戦略などがあると思います。健康や福祉の分野でもありますし、まちづくりの分野にもありますし、他の個別計画もあります。それを全部網羅したものが総合戦略ではないんですが、個別の計画に目標があるのであれば、そこをリンクして、観光であれば、観光協会さんが中心になって作っている観光戦略に数値があれば良いことなので、そこを活用していただければと思います。</p> <p>総合戦略は60以上の指標があります。総合計画には47の指標があるんですけども、前期の計画に入っていました観光関連の指標、「観光客数、宿泊客数、外国人宿泊数、観光消費額」については、総合戦略にも同じような項目がありますので、まあカバー出来ているのではないかと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。</p>
委員	<p>総合戦略というのは、また別の担当の方がいらっしゃって、各分野分野で計画をしているものになるのですか。</p>
事務局	<p>名前が似ているので分かりにくいと思いますが、総合計画は今ご議論いただいているもので、市の最上位計画になります。総合戦略は国の方針もあって「まち・ひと・しごと」の分野の計画を立てないさいと言うことで作ったものになります。大きくは、行政が立てた総合的な計画と</p>

	<p>言う意味では、ほぼ同じような内容になりますが、仕事や人口減に特化して KPI などを設定して推進していくものが総合戦略になります。総合戦略は必ず作らないといけないもので、市によっては総合計画と総合戦略を同じ扱いで一緒にしているところもあります。嬉野市の場合は、策定の年度が違っているの、別々にしています。なかなか分かりにくい部分があって申し訳無いです。</p>
委員	<p>「まち・ひと・しごと」の分野で動いているのが総合戦略で、その全体版が総合計画ということですか。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
議長	<p>総合計画というのは、市の全ての領域について、ずっと昔から 4 年に 1 回とか 5 年に 1 回とかで作ってきていたんですよね。それに対して総合戦略は 2014 年から、日本全体で人口減少をどうしようと言うことが話題になって、その対策を国も地方も考えなさいということで作り出したのが総合戦略です。総合戦略は総合計画よりも下位にあるんですが、人口減少をどうするかを考えるにはかなり広い分野にまたがって考えなければいけないので似たようなものになってしまう。ただ、総合計画の下に位置している似たような別物ということになります。</p>
事務局	<p>わかりにくい部分がありますので、次の改訂の際には二つを一緒にした計画が作れればと思っています。佐賀県の方はそういうやり方をおこなっています。市町レベルでは、まだ別々のところが多いようですが、今後そういう流れになって来ると思います。</p>
委員	<p>わかりました。今後は、総合戦略である程度 KPI が同じものもあるので、そちらを参考にすればということですね。</p>
事務局	<p>そうなります。</p>
議長	<p>そのほか、わからないことがあればどんどん聞いてください。</p>
議長	<p>では、指標についてはよろしいでしょうか。 他にご意見がないようですので、それでは、次のパートにいきたいと思います。事務局お願いします。</p>
事務局	<p>それでは、基本計画の中の分野別政策に入っていきたいと思います。 分野別政策は、福祉であったりスポーツであったり、各分野の政策をまとめたものになります。 今回、新たに追加したものが SDG s への取組みということで、各分野に関連が深いと思われる箇所に SDG s の各シンボルマークを入れさせていただきます。 おそらく関連付けようとするれば、全ての分野で全ての各 SDG s の目標が関連づくと思います。たとえば、スポーツでいえばマリンスポーツを行うことで海の豊かさを守ることに繋がったり、スポーツビジネスを拡大することで飢餓をゼロにということに繋がったり、広く捉えていけばあらゆる分野であらゆる関連付けができると思われま。</p> <p>ただ今回は、国連が発表している「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の目標に直接関わりが深いと思われる箇所にマークを配しています。</p> <p>それでは、4-1 福祉・健康づくりの分野から変更点を説明させて</p>

	<p>いただきます。</p> <p>ちょっと見にくいかもしれませんが、赤字になっている箇所が変更点です。</p> <p>先ず、今まで「4-1-1 妊娠・出産・子育て」だった箇所に「結婚」を加えて「結婚・妊娠・出産・子育て」としました。</p> <p>あとは、コロナのことを加味したような内容に変更しています。</p> <p>高齢者福祉に関しても、コロナが大きな障がいになりますので、そこを加味しています。特にフレイル対策とか。フレイルと言うのが、動かなくなることによって起きる筋力低下であったり活力の低下がおこるようなことを言います。そういった対策を追加しています。</p> <p>障がい者福祉も、コロナのことを加味しています。</p> <p>地域福祉・生活福祉に関しては、コロナも念頭に置いていますが、改正点はあまりありません。</p> <p>健康・医療については、もちろんコロナのことがありますので、その対策を加味しています。</p> <p>社会保障については、年金や健康保険・介護保険のことになりますので変更点はあまりありません。</p> <p>赤字になっている変更箇所や、もちろん黒字のこれまで同様の施策も疑問に思われる箇所がありましたらご議論いただければと思います。</p>
議長	<p>では、このパートにつきまして、ご意見ご質問を頂戴したいと思います。</p>
委員	<p>結婚・妊娠・出産・子育てのページで、以前あった不妊に悩むかたへの支援の充実というところが消えているんですけども、以前は補助金などの支援があっていたのでしょうか。</p>
事務局	<p>以前は市の補助金がありましたけれども、国の政策として補助金が出る事になりましたので、市の個別の政策からは削除しております。</p>
議長	<p>保険対象になりましたね。</p>
委員	<p>同じところの「発達障がい児等の早期の発達支援」というところがありますけれども、早期の発達支援というところが気になったんですけども、発達支援って。「早期の支援」でもいいんじゃないでしょうか。</p>
事務局	<p>そうですね、「早期の支援」に改めさせていただきます。</p>
委員	<p>同じページの「寡婦（夫）控除のみなし適用による支援」が消えているのはなぜですか。</p>
事務局	<p>これも国の制度上、「みなし」であった部分が寡婦控除の対象になりましたので削除しています。</p>
委員	<p>また同じページですが、「保育料の無償化」について、既に国の制度で無償化してあると思いますし実行されていると思うんですが、あえて書く必要があるのでしょうか。</p>

事務局	そうですね。削除します。
委員	「結婚機運の醸成」のところなんですが、私が思うに結婚を望んでいる人の割合も減ってきているのかなと思います。そうすると、結婚したい方への支援と、結婚したく無いと思っている方への働きかけというのは、別項目にできるのかはわかりませんが、もう少し大事にしても良いのかなと思います。
議長	これは具体的に政策を想定されているんですか。
事務局	本人に影響がどれほどあるかは分かりませんが、親御さんを対象にしたセミナーなども方法かなと思っています。結婚したくない方へ行政がアプローチしていくには、なかなか難しい問題があると思います。
委員	結婚したく無い人の思いには色々な理由があると思うんですが、結婚って大変そうとか、妊娠したら仕事などきつそうだなとか、子育て中のお母さんも大変だなとか、そういうイメージが増えて来ているような印象があります。県の出会いのサポートとか回覧板で届いたりするんですが、実際カップリングしたというのも市報なんかで見たりするんですが、実際そこが少子化につながっているかといえば、それだけじゃなくて若い人がもっと子育てが楽しくなるように、自然体でいられるような支援をしていただけたらと思います。結婚したら市から補助金が出るよとかではなくて、純粹に結婚や子育てに楽しみを持てるように、経済的な負担とかから子どもを作れないとかネガティブなイメージを持っているかたが多いようなので、出会いから結婚、子育てまで切れ目の無い支援が出てきたら嬉しいと思います。
事務局	「結婚機運の醸成」というところを大項目にしてもっと大切にして欲しいと言う事で理解させていただきましたが、これを大項目にすると、そこで行政が出来る個別の施策というのが、正直あまり浮かばないというところがあります。大事にしたい気持ちも分かります。計画自体のバランスもありますので、少し検討させていただければと思います。
議長	大事なのは、ここに記載をすることで、何をすれば良いのかを考えてもらうことだと思うんですね。デリケートな問題ですが、出来ることを考えていただければと思います。
委員	この計画が出来たら、それぞれの項目を適した課に振り分けられるんですか。
事務局	そうですね。この計画の下に「実施計画」というのがありまして、そこで具体的な進め方を考えていくことになります。
議長	そのほかいかがでしょうか。
委員	結婚支援相談員やサポーターの育成のところ、現在、うちのコミュニティからもサポーターをお願いしているんですが、かなり負担に思われているようです。そもそもとして、こういう役割が時代として合っているか一度、市でも考えていただければと思います。良い制度だと思いますが、必要とされているのかを悩んでおられたりするようです。
事務局	恐らく、相談件数自体が少ないことも影響しているかもしれません。

委員	そうですね。それにチラシを配らないといけないとか、どこに配ったら良いのかとか悩んでおられるようです。お店とかをやっていたら良いんでしょうけど、個人で担ったらどこに持って行けばよいのかとか。
事務局	先進事例に倣った制度だと思うんですが、負担に思われる方もいらっしゃるということで、担当には伝えたいと思います。
委員	それは、どういった基準で選ばれているんですか。
事務局	もちろんやりたい方もいらっしゃると思うんですが、なり手がなくともあって、各団体に推薦をお願いしている部分もあると思います。
委員	何名ぐらいいらっしゃるんですか。
委員	恐らく、塩田と嬉野で各5名ずつだったと思うんですが、慣例化してしまっていつも同じ人になっているみたいです。
事務局	公募していた時期もあったようですが、なり手不足で同じ団体から長く選出してもらっているというのが慣例化していつている側面もあると思います。
議長	この制度が出来た当時と状況が変わっているの、担当課がてこ入れというか考える必要があると思います。
委員	そういう問題があるなら、負担にならないように、連携の仕方とか考えながら進めていってもらえればと思います。
事務局	これについては、企画政策課の私たちと別のグループが担当なのですが、適材適所じゃないですが、なり手がなければ例えば結婚相談所とかと連携するとか方策を考えるよう申し伝えたいと思います。
委員	この計画がかなりボリュームがあるので、パートごとに区切って、現状把握のためにその担当の方を実際に呼んでお尋ねすることはできるんですか。
事務局	それが理想だと思います。例えば担当課長を呼んでとかですね。
委員	担当課長というより、担当の方に、今の嬉野の現状やニーズがどのように出ているのかを聞いたら、あまり現場の知識の無い状態で議論するよりも、担当者に来てもらって議論するとイメージも湧きやすいのかなと思うんですね。せっかく発言できる機会をいただいているので、自分の知らない分野も踏み込んで知識を得たいなと思います。
事務局	本来は、私たち事務局も詳細にわたってご説明さしあげたいところなんですが、何ぶん多岐にわたっていて説明が十分でなくて申し訳ないです。各担当に実際に来てもらってと言うのは、スケジュールの調整などでなかなか難しいところもあると思いますが、疑問に思っておられることは後日担当に確認してフィードバックするような形でご説明できるようにしたいと思います。
議長	質問いただいて、後日回答というのは可能だと思うのでどんどん聞いて

		ていただければと思います。
委員		事務をして居る方と、直接現場にいる方でも感じ方が違ったりするので、出来ればと思ったので。
議長		そのほかいかがでしょうか。
委員		コロナのせいで前回いただいていたスケジュールどおり進んでいないとおもうんですけども、4～5月に予定されていたパブリックコメントなどはどなっていくのでしょうか。
事務局		6月の議会への上程を予定していますので、パブリックコメントに日程も4～5月で行おうと考えています。このあと、4月にもまた集まっていたいただいて、なるべく集中して議論ができればと思います。 どうしても、市長選挙での結果を受けて新しく追加する施策などもありましたので、任期の関係もあって切れ目切れ目は、どうしてもこういう方法で計画を作っているところではあります。
議長		では、よろしいでしょうか。 次のパートの説明をお願いします。
事務局		では、4-2の「自然・都市・生活環境」の部分の説明をさせていただきます。 4-2-1の「新幹線駅周辺まちづくり」は、今まで新幹線が開業するまでに向けた施策が中心でしたので、開業後にどうやっていくかという視点を入れて修正させていただいています。 4-2-2の「自然と都市」につきましては、大きな変更点はありません。 4-2-3は「住まい」に「移住・定住」といったところを加えさせていただきました。今後、人口減少化にあって、移住して来ていただく方が、経済面でも大きな鍵になってきますので項目を追加させていただいています。 4-2-4の「ごみ・環境保全」につきましては、新エネルギー・省エネルギーといったところで施策を修正させていただいています。 次ぎの「上水道」については、佐賀西部広域水道企業団に事務が移っていますので、市の総合計画中からは外してあります。 4-2-5の「下水道」については、あまり変更はありません。 4-2-6の「道路・交通」については、公共交通の部分で駅前を核として未来技術を実装した形で進めようとしていますので、その部分を追加しています。
議長		それでは、この部分についてご意見、ご質問いかがでしょうか。
委員		道の駅について、新幹線の駅と道の駅とを一緒にして成り立つのでしょうか。それぞれ、荷物の運び方も違いますし、知人との間でも議論の対象になっています。
事務局		道の駅が難しいと言うとどういった面ででしょうか。
委員		駅が無い所に出来るのが「道の駅」だと思うんですよね。なので、何で鉄道の駅と道の駅を隣接させるのかと。
事務局		道の駅は、本来トイレだとか観光情報の発信施設だとかを指してい

	<p>て、賑わいの部分では物販施設が良くありますけれども、そちらは民間の活力を活かして進んでいるところですけども、鉄道を利用したお客様と車で来ていただいたお客様と、両方の方が立ち寄っていただける施設ということで、賑わいをつくる効果があるのかなと思っています。</p>
委員	<p>もう認可が下りて進んでいるんですね。</p>
事務局	<p>はい。進んでいます。鉄道駅と道の駅をクロスすることで、賑わいの効果を発揮させるものだと思います。</p>
委員	<p>国土交通省の認可を得て作る部分は、本来、駐車場とトイレとインフォメーションセンターぐらいなので、物産館は民間や自治体が主導してやると思うんですけども、トイレやインフォメーションは鉄道駅と隣接していてもおかしくはないかなと思います。</p>
委員	<p>出張などで道の駅を使うことが多いんですけども、高速道路からは近いけれども鉄道駅からは遠いというのは良くあることで、隣のまちとの結節点である、例えば川登のあたりとか、真崎のあたりとかだと利点を活かせるのかなとは思いますが、道の駅機能としては現在の場所ではあまり利点を感じません。</p>
事務局	<p>考え方ですけども、道の駅と物販施設としての賑わいが嬉野市の場合は、新幹線駅前とリンクすることが最善なのではないかなと思います。</p>
委員	<p>もう認可も下りて、着工されている話なので、それはそれで、新幹線駅から降りた旅人と道の駅を使う地元の人が出会うのも、それはそれで面白いと思います。</p> <p>隣の町との結節点などの不便な周辺部に物販施設をというのは、今後考えていってもらえればと思います。</p>
議長	<p>関連で、市民アンケートの結果で、嬉野市に住みたく無い理由になっているのが「買い物の便が悪いこと」「道路・交通の便が悪いこと」があがっているんですが、それに対して総合計画でどう答えを出すのかが求められていると思うんです。とりわけ買い物の便悪いことに対して、市が民間の商業施設を作ることはできないんですけども、じゃあ市の取り組みとして市民にどういう答えを出すのかというのが総合計画の中で何かありますか。先ほどの、不便なところに商業施設をというところと関連するかなと思うんですけども。商業施設のレベルにしても、買い物難民のような日常での困りごととかレベルによって違うと思うんですけども。</p>
事務局	<p>おっしゃったように、どのレベルの商業施設が必要なかは、このアンケートで聞いていないので分からないんですけども、以前、福祉課で一人暮らしの高齢者に買い物の便についてのアンケートをしたんですよ。その結果、近くに住んでいる子どもや近所の方が買い物に連れて行ってくれるけん特に困りよらんよという回答が多くて意外だったんですけども。それからいくと、ここで意識されている買い物の便が悪いという商業施設は、スーパーとかではなくて、福岡の天神に行きたいとかマリノアに行きたいとかいう大型の複合ショッピングモールのような商業施設のことなんだろうと思っています。だとすると福岡市への交通の起点になる高速バスのバス停とか、新幹線駅を核として、嬉野</p>

		市の周辺部からのアクセスを良くすることが答えなんじゃないかなと思います。
委員		買い物難民のことが、この新幹線の部分に書いてあるのかと思って、府に落ちなかったんですが、そういうふうな捉え方だったんですね。アンケートの結果、買い物難民は少ないと。
事務局		これについては、私自身が近畿圏で買い物難民対策の先進地である市を何箇所か巡ったことがあるんですけども、買い物難民対策と思って市の周辺部に巡回バスを巡らしたけれども、実際は誰も乗らなかったり、移動式の販売車で巡回も最初は歓迎されるけれども、結局遠くにある安いスーパーに負けて誰も買わなくなるとかいう現象がおこっていました。じゃあ、誰が「交通の便が悪くて買い物が不便である」と言っていたかと言うと、結局は「隣の一人暮らしのおばあちゃんが不便そうだ」と車を持っている隣の人が言っていたというケースが多々あったということです。 それで、この新幹線まちづくりの部分に「買い物の便が悪い」という問題を書いているのは、実際に駅を結節点として、最初は限定的ですけども自動運転の車が走るようになっていて、それが周辺分に拡大していくことで、一人暮らしの高齢者の方が気軽に買い物に行けるようになればという思いでここに記述させてもらっています。
委員		では、公共交通機関の乗り継ぎ機能の整備などが消去されているのはなぜですか。
事務局		これは、実はこのページの上部の別の大項目の中に移動しているようなかたちになります。
議長		そのほかいかがでしょうか。
委員		水道事業がなくなっていますけれども、嬉野市内の上水道の給水率は100パーセントですか。
事務局		100パーセントではないです。上水道に繋がっていない地区もあります。そういった地区は、自分たちで上水道に接続しないことを選択されていて、地区で山の湧き水を分配するよう管理されていたり、家によっては個人で山水を引いてきたり井戸水を使っておられます。
委員		自分も前に水道課のときがあって、水源の上に茶畑が開かれて農薬の影響で山水が飲めなくなったというのを聞いた事があります。全戸に上水道が繋がっていない状況であれば、何らかのかたちで総合計画に残す必要があるのかなと思います。 例えば、移住してきて上水道を引きたいけれども接続されていないというのが出てくる気がします。
事務局		はい。実際にそういうケースが出てきています。今の所、2件ほどそういう事例があって、1件は家の前まで給水管が来ているけれども、元の持主が選択的に接続しなくて山水を使っているケース、もう一つは地区に給水管がきていなくて、地区で山水をろ過して使っているケースで、そちらは地区立の山水を水源とする簡易水道じゃないですけども給水設備にそのまま接続することで水が使えています。 地区で山水を使っているケースは、今後高齢化が進むとろ過施設とか

	<p>を維持できなくなってしまうのは考えられます。そのときは、地区と市で話し合っって水道起業段のほうに伝えていくということにはなってくると思います。</p> <p>現状としては、その地区の方たちは上水道接続を望まれていないので、経営の合理化というところで、水道事業を企業団に合併するかたちを取ったという判断だと思います。</p>
議長	<p>そのほかいかがでしょうか。</p>
委員	<p>市の中で、限界集落はでてきているんでしょうか。</p> <p>自分の地区でも高齢化が進んでいて、新しく来たひともいますけど、空き家がふえてくるだろうなど。あと10年たったら、20年たったらどうなるのかと考えるときに限界集落のことも考えておかなくてよいのかと思います。</p> <p>買い物難民も一緒です。今は運転できるけれども将来を考えると移動手段がなくなるとか。まあ4年後までの計画なので、そこまでは必要ないのかもしれませんが。長い目で見ると、そういうのも考えておかないといけないのかなと思います。</p>
議長	<p>そういうのって、市の中のどのような部署が考えているんですかね。長い目で見ると、水道なども撤退しないといけない地区が理論上はきますよね。そういう問題はどのように。長期的な。</p>
事務局	<p>実際、人口が極端に減って隣の地区と合併を勧めたようなことが何年前にありました。そのときは、自分たちのところは自分たちでやりたいというようなことで、合併には至らなかった経緯があります。</p> <p>行政が一方的に、もうあの地区は限界だと思っても、住んでいる方がまだ自分たちでやれるんだと思っておられるうちは限界集落ではないのかなと思います。</p>
委員	<p>合併するとサポートが入るとかがあるのですか。</p>
事務局	<p>市からサポートが入るわけでは無いですが、地区として維持していかないといけないことが分散されると思います。</p>
委員	<p>たぶん、地域の役員がいらなくなるとかですね。</p>
委員	<p>農地があるところは生産組合もあるし、区役とかもあるし賦課金もあるし、そういうところを考えると今は道の草払いとか維持できていると思うんですよ。ただ、将来的には厳しい時期が来るのかなと。</p>
事務局	<p>そのときに備えて、小さな集団でできなくなったことを小学校区単位のコミュニティで支えるように、みんなで分け合っっていこうよという考え方ではあります。</p> <p>個人個人のレベルでいくと、公共交通が通っていないような地区は、買い物にも困られるときが来るのかなと思いますが、これから車を手放すようになってくる世代、例えば60代ぐらいの方たちだとインターネットで買い物が出来たり、FAXで生協に注文が出来たりということが出来る方が多いと思いますので、それはそれで成り立っていくのかなとは思いますが。</p> <p>時代の進歩が早いのか、高齢化が早いのかといったことにはなってくるとは思いますが。</p>

議長	<p>そのころには、自動運転車が出来ていれば、住み続けることも可能になってきますね。</p>
事務局	<p>先ほど、水道だとかインフラの話もありましたけども、学校の問題とかもですね、今の段階では、総合した限界集落の対策のようなものはなくて、学校の人数が少なくなってきたら統廃合をどうしようとか、個別に対応していますので、水道の事も個別に対応していくのかなと思います。今、コミュニティとか地区の運営の話になっていましたけれども、水道とか病院とかは市で直接とは今はなっていないですけども、個別に分野別のなかで対応していくことになるのかなと思います。</p> <p>買い物難民の問題は、企画政策課で取り組んだりとか、空き家もですけども取り組んだりとか、何にせよこれから問題が顕在化してくる話しだとは認識しています。</p>
議長	<p>そのほかありませんか。</p>
委員	<p>ごみ・環境保全のところ、不法投棄・ポイ捨て防止対策を強化しますというところですが、うちのコミュニティからも監視員を出しています。</p> <p>計画には上がっているんですが、現実のところ草払いとかごみ拾いとかをしたいんですが、国道や県道沿いは触ってはいけないようなことがあって、地区の方は片付けたいんですがどうにもできないような状況です。市に言っても、国の管理なのとか県の管理なので、で終わってしまうパターンが多いのでどうにかできないかと思います。</p>
事務局	<p>それは、市の担当も国なり県なりにつなげるべきだと思いますので、担当課に伝えたいと思います。</p> <p>そのほかにも、市の対応に疑問を感じられることがあれば、「のほほんボックス」というご意見箱がありますので、そちらに投稿していただければ何なりと対応するとおもいますので活用いただければと思います。WEB版もありますので、市役所HPからもご利用ください。</p>
議長	<p>ありがとうございます。それではこのパートよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>すいません。移住・定住・住まいとこのころの三世代同居住宅の推進というのはどういうものなのでしょうか。</p>
事務局	<p>以前は県からも補助金がでていたんですけども、三世代で住む事により空き家の発生が抑制できたり、放課後の子どもが安心して家に帰れたりという、まあ、昔ながらの生活のスタイルですけども、ある面、効率の良い居住スタイルでもあると思って居ます。</p>
委員	<p>次ぎの世代、次の世代と住み続けることで、空き家にならない。三世代で住んでいると、そのうちの誰かが跡をとってくれる確立が上がる。そこには、子や孫へ、嬉野はいいところだから戻ってきなさいという機運の醸成も必要だと思うんですけども、ここでは、そういうふうな跡継ぎをしっかりと育てていきたいと思いますという取組みをやっていきたいと思います。</p>
議長	<p>助成がありましたよね。</p>

事務局	以前、県の方でありました。今の所、嬉野には三世代に特化した助成はないです。
議長	それでは、次のパートの説明をお願いします。
事務局	次ぎは4-3の「安全・安心」ですね。 消防・防災のパートですが、最近の豪雨、昨年8月の豪雨を受けて、対策、項目を足ささせていただいています。 防犯・交通安全・消費者保護は、詐欺対策であったりとか、市長公約の中にもでていましたが、防犯等の増設やカーブミラーの改良などを増やしています。
議長	はい。では、ご質問ご意見等いかがでしょうか。
委員	食料備蓄について。私はプログラマーなんですけれども。例えば、食糧を多めに買って置いて、消費期限が近づいてきたらLINEでメッセージが届くようなアプリを自分で作ったりもしているんですね。
事務局	個人での備蓄の延長ということですね。
委員	そうですね。市で食料を備蓄するには限界があるので、情報発信という面ですね。市で全員分を用意するのは無理なので、それよりは情報発信が有効なのかなと。
事務局	分かりました。項目にいれさせていただきたいと思います。
委員	あとは、被災地への支援の項目ですね。例えば、ウクライナへの物的な支援とかではなくて、ロシアへの戦争反対の意思を示すなど、心の部分での支援ができれば、住んでいる市民としても、住んでいてよかったなと思えるとおもうんです。
事務局	一つ分けて考えておかないといけないのが、武雄市のような市議会でロシアを非難する決議をするようなことは、あくまでも市議会の意思決定になりますので、市の政策とは分けて考えないといけないと思います。嬉野市議会でも、この問題に対して日本政府に積極的に問題に関わるように促す決議がなされています。 すいません、議案に出ていて明日決議の予定ですね。
委員	そこを武雄市より早くやって欲しかった。
事務局	考えておかないといけないのが、ロシアへの非難決議を行った翌日に武雄市のホームページがダウンしています。サイバー攻撃の可能性が高いんじゃないかと言われてます。なので、目立つように早く決議することが良いことなのかどうかも見極めながらですね。 ウクライナへの募金もう社会福祉協議会のほうで行ってもらっていますけれども、そのあたりの情報の発信と言う面で考えていけないのかなと思います。
委員	またちょっと違いますけれども、例えば商店街にウクライナの黄色と青のペンを用意して書き込みをしていただくと10円の募金になるとかすれば、市民として誇りに思うし、商店街にも行きたくなるのかなと思います。これは、市役所が出来る事ではないと思いますけれども。単

	なる募金だけじゃなくて、他の何かのアクションと関連付けることで広報の役目も果たすのかなと。
事務局	そうですね、ロシアへの非難は、在日ロシア人の方たちも多くの方が戦争に反対しているよう状況もあるので、あり方を考えなければならないですが、ウクライナへの支援については世界中が思っていることだと思いますので、関係課には伝えたいと思います。
議長	そのほかいかがでしょうか。では、次に進みたいと思います。
事務局	はい。4-4の「産業・経済」です。 まず農業に関しては、かなりの部分を見直しています。これまで国の政策も含めて市の仕事として定着している部分も多く記載していましたが、項目が多すぎて要点が絞れて居なった部分もありますので、市長公約の部分も含めてピックアップすべき事項を中心に載せるように改訂をさせていただいています。 林業に関しては、あまり大きくは変わっておりません。 商工業についても、市長公約を中心に項目の追加をさせていただいています。 観光については、担当課よりだいぶ練ったかたちで上がってきましたので、市長の公約も含め、コロナの事もありますので、だいぶ改訂をさせていただいています。
委員	農業のところの農福連携とはなんでしょうか。
事務局	簡単に言うと、農業に障がいを持った方で一般就労されていなような方を取り込んでやっていこうということです。
委員	農福の福は福祉の福だったんですね。
委員	県のほうでも、障がい者施設と連携して、例えば同じ作業だと集中してずっとやられていられる方とか、障がいを持った方の特性を活かして農業をやってもらうようなことを進めています。
委員	林業のところのSDGsで、よく海と山は繋がっているように聞くんですが、ここに「海の豊かさを守ろう」という項目を入れなくてよいのでしょうか。
事務局	迷ったところではあるんですが、仮訳の2030アジェンダを見ると、海の項目の目標、ターゲットに山のことは直接はでてこないんですね。大きく解釈すると、当然、山と海は繋がっていますから持続可能な開発目標という意味では入れてもよいかとも思うんですが、みなさんどうでしょうか。どちらかと言うと「陸の豊かさを守ろう」という項目のターゲット達成することで、間接的に海も守られるようなイメージでいたんですが。
議長	「安全な水とトイレを世界中に」というのを入れているのは、環境保全、森林保全という意味で入っているのですか。
事務局	そういうことになります。アジェンダの6-6に「2020年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回

		復を行う。」とされているためです。
議長		中身を見てみると、なかなか難しいですね。
事務局		SDGsのアイコンの文字にフォーカスしがちですが、中身を見てみると、また違ったことがかいていたりして難しいところです。
委員		分かりました。
議長		そのほかいかがでしょうか。
委員		農業でいくと、原油高や資材の高騰などでかなり厳しくなっています。コストが今までの2倍とか。
委員		観光のほうも一緒に、旅館なんか光熱水費が上がって、値上げしないとやっていけないような状況になっています。コロナでお客さんも来ないし。 DMOをやっているんですが、地元が儲からないと何もならないと思っていて、地元の少子高齢化を考えると交流人口を増やさないといけない。そう考えるとハード面の整備をちょっとづつやらないと、動画を見てすごい良いと思って来たけどボロボロだとか言うことをやっぱり聞くんですよ。 シーボルトの湯も指定管理を受けていますが、受けた当初は来館者が年間約10万人ぐらいでコロナ前まで14万人ぐらいまで伸びたのが、コロナでまた10万人ぐらいまで落ちたんです。経費が全然違うんですよ。消費税も上がっているし、年間パスポートが増えている、同じ人が何回も入っているの、客単価が上がらなかつたりしています。10年たつと当然、電気機械類も設備も老朽化してきますし。 それを考えると、民間の人たちに頑張らなさいということもあります。少し補助があると。例えば商店街でも同じですけど、リニューアルしたいけどなかなか踏み切れないということがあって、少しでも背中を押してくれればリニューアルできて、お客さんも喜ぶだろうし、お客さんが増えるとお店の人も頑張れるし、全体的な経済効果が出てくるんじゃないだろうかと思います。
事務局		よく言われるのが、個人の財産に公金を使って補助して良いのかという議論がよくあります。日本全体として、スタートアップの補助金はよくありますが、海外と比較してよく言われているのが、事業拡張などの中間支援がないよねと。せっかく起業いただいているんだから、もう一つ背中を押して事業拡張していただければ、雇用も生まれるし、とこのある記事で読んだことがあります。財源的な問題もあるので、すぐには難しいかもしれませんが、関係課に繋がさせていただきます。
委員		商工会とか観光協会とか、旅館組合とかを利用して、きちんと集客増のためにやっているなというのが審査できたら、例えば3割とかでも補助してもらえれば、やるきっかけになるかなと。きっかけになって整備すれば、地元の大工さんとか左官さんとか使うので循環していくじゃないですか。そういうところを考えてやっていただければと思います。
議長		そのほかいかがでしょうか。
委員		商工業のところで、直接起業を支援するというのはよくあると思うん

		<p>ですが、例えば HP の開設の補助とか、それが済んだら GoogleMAP に載せて、来た人が GoogleMAP を見たら、嬉野市の飲食店が全部載っているとかできればいいと思います。</p> <p>あとは、人材バンクのようなものを作ってもらいたいと思っていて、例えばスズメバチを退治したいと思ったとき、みんなインターネットで検索したりだと思うんですけど、市の HP でそういう市内の人材を載せてもらっていたら、信頼できる業者が選べるとか、そういうのを GoogleMAP とか HP とかで網羅できていたら、一つの大きな価値になると思います。そこで稼いでもらって、法人税だとかを納めてもらうとか経済循環ができると思うんですね。</p>
事務局		<p>そうですね。よく HP の作成支援をしては、ほったらかされているようなページも散見します。作ったあとどれだけ手を入れられるかというところで、高齢者の方とかはなかなか難しい部分もあると思います。行政がどこまで手助けをして作るかというところも一つ課題だとは思いますが、情報リテラシー教育じゃないですけども、生涯学習の講座にしてみるとか。まあ、個人の努力によるところが大きいのかなとも思いますし、逆にそこが民間の商売の努力の差が出てくる場所なので。全ての人に平等にという行政の大前提もありますので、全ての方を対象に HP を作って継続していくことを前提とすると、なかなか難しい部分もあります。</p>
委員		<p>昔は、人がいたので住民税がたくさん入ったわけですが、少子高齢化で住民税も減ってしまっている状況で、IターンUターンどんどん来て下さい、企業も誘致しますという中で、法人市民税にシフトしているのかなと思っています。一つの企業を優先的に支援するというのは難しいと思いますが、例えば飲食店だったら一旦全部 HP を無料で作れるようにするとか、作る作らないは個人の自由ですけども、そういうことは市からしても利点もあるし、全く差別的なことではないのかなと思います。</p>
事務局		<p>まず、業種、対象をどのように絞るかというところと、対象になった方全てに声をどうやってかけるかがなかなか難しいと思います。例えば飲食店でいくと、料飲店組合というのがあるんですけども、そこにいたい入っておられると思って補助とかのお知らせをしていると、そこに入っていない店から、どうして教えてくれなかったのかとお叱りを受けたりもしていて、営業の状態とかにもよりますし、実際のところ全ての対象の方にお知らせするというのが嬉野市でも難しい。情報の拡散の検討はもちろん必要ですけども。</p> <p>料飲店組合に入っておられるところなんかは、観光協会の HP に紹介のページがあったりもしますが、私が知っている居酒屋さんとかにお話を聞くと、宣伝とかはしないと。自分は美味しいものを作るだけ、とかいう気持ちの方もいらっしゃる。宣伝はあくまで民間努力の部分もあるので、そこを一律に行政がこのサービスを使って HP を作る手助けをするということに抵抗がある方もいると思うので、なかなか難しい部分もあると思います。ただ、やりたいけれども手助けが必要な方に協力するというのは悪い事ではないと思います。</p> <p>以前は観光協会を中心に、同じような取組みを行いました。旅館に限らず、お茶屋さんの紹介だとか、飲食店の紹介だとか。いま委員のおっしゃった内容からすれば小さな範囲だとは思いますが、そういった動きは、そういった動きに市が支援するというような流れはありますので、今後いろいろな産業にどう波及させていくか考えればと思います。</p>

委員	<p>観光協会のHPリニューアルしたんですけれども、会員じゃない方の紹介もしています。会員とそうじゃない方では、情報量とかで差別化は図っていますけども。GoogleMAPにも繋がっていますし、多言語にも対応しています。嬉野町のほうは、昔から観光協会がありましたので加入率が高いんですけれども、塩田のほうがちょっと低いのかなと。DMOもあって、商工会や他の団体ともつながりがありますので、今後働きかけて増えていけばいいなと思います。</p>
事務局	<p>嬉野全体で、もっと繋がりをもって発信していけたら良いのかなと思います。</p>
委員	<p>一つ困っているのが、情報をくれないんですね。情報を出して下さいとお願いしても、なかなか。画像もコメントもですね。</p>
事務局	<p>あとは、以前、商工会の方に空き家バンクのリフォームの情報などで連携できないかと思って、協力店舗を募るようお願いしたことがあったんですけれども、結果的に応募は0でした。まあ、温度差はあるのかなというのは感じています。</p>
委員	<p>魅力あふれる商店街を目指します。というところで駐車場がもっと増えないかなとか、無料にならないかなと思うんですが。</p>
事務局	<p>シーボルトの湯の市営駐車場は、民間と一緒にやってはいますが、一部無料となっています。散策するときの利便性や、路上駐車危険性などで一歩通行化などの話もありましたけれども、駐車場に関してはこ入れしていく必要があるように感じています。</p>
委員	<p>桜ホテルのところに民営の駐車場がありますが、シーボルトの湯の駐車場が90分間無料なので、それが拡大するとどうしても民間駐車場が影響を受ける、民業圧迫というふうにもなるし、場所に関しても密集地なので確保できる土地がなくて、どうしても離れたところにしか作れないということもあると思います。</p>
委員	<p>私は波佐見出身なので、波佐見のまち中と比べてしまうんですが、波佐見は町が駐車場を無料で整備して、賑わいがでていて、嬉野も魅力的なお店が増えてあんなにいいなと思っています。</p>
委員	<p>新幹線も出来るので、商店街まで車で行かなくてもよいような交通体系ができるといいなと思います。</p>
事務局	<p>公共交通に関しては、駅からの自動運転車の社会実験があるようです。既存の公共交通とのかねあいもあるのでスピードは歩く程度のもになると聞いています。</p>
委員	<p>新幹線・まちづくり課のほうでも、シャトルバスを出したほうが良いか、旅館がお迎えに行くスタイルが良いのか考えているようです。無料にするのか有料にするのかもですね。まだはっきりはしていませんけれども、そういう動きはあるようです。</p> <p>駅にも駐車場が出来るだろうし、そこに車を置いてシャトルバスで移動してもらおうとか、そういう動きも出来ないことはないのかなと思います。</p>

事務局	<p>有料駐車場を作りたいと思うぐらい、お客さんがきてくれるように、色々な施策を通じて、素敵なお店を増やして魅力的な街にしていくことが重要だと思います。</p> <p>なんでも無料ではなくて、有料でも来たいいただけるように努力をすべきかなと思います。</p>
委員	<p>今、老舗の旅館が駐車場を有料化しました。30分は無料だと思いますが、それ以降は料金がかかるので、旅館の中の施設を利用してもらったら無料になるような仕組みです。</p>
委員	<p>単純に土日だけ市役所の駐車場を無料開放できないんですか。</p>
事務局	<p>できるのではないかと思います。それこそ市役所の決定だけでやれる部分です。</p>
委員	<p>それこそ、銀行なんかも解放されていますよね。</p>
委員	<p>そう言う輪が広がればいいですよ。</p>
事務局	<p>市役所駐車場は、かなり昔は開放してあったんですが、違法駐車 of 放置車両を撤去するのにかなりお金や労力がかかったので、締め切るようになったと記憶しています。</p> <p>商店街や飲食店の方々から、嬉野庁舎の駐車場を開放してもらえたら嬉しいという声は聞きますね。</p>
委員	<p>公会堂跡地のほうは、土日は開いてるんですか。</p>
事務局	<p>開いてたと思います。</p>
委員	<p>児童松公園の遊具が新しくなったので、行きたいときにどうしても車を泊める必要があるので開放してもらえていたら嬉しいです。</p>
議長	<p>では、4-5「教育・文化・スポーツ」について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>はい。まず4-5-1 学校教育ですが、GIGA スクール構想や総合戦略にでてくるような箇所をプラスしています。</p> <p>4-5-2 生涯学習・青少年教育ですが、市長の公約より外国人材への教育の推進・教育機関の誘致というのを追加させていただいています。</p> <p>4-5-3 歴史・文化・芸術も市長公約にしたがい修正しています。</p> <p>4-5-4 のスポーツは、こども市長の公約で女子スポーツの応援という項目を追加しています。</p>
議長	<p>では、ご意見・ご質問ちょうだいしたいと思います。</p>
委員	<p>女子野球の応援というのが以前ありましたよね。</p>
事務局	<p>女子野球タウン構想というのがあってうちだしています。今後やっていくようなかたちで、構想を作って、国の補助金なども使いながら今年度から具体的に進めるようになります。</p>
委員	<p>女子リーグはできないとかじゃなかったでしょうか。</p>

事務局	<p>一時期女子野球のチームがいくつかあって、それが下火になってきたんですよね、それで新たにNPBのほうで、各プロ野球チームの管轄で女子も同じユニフォームを着てやられるというのをされています。代表チームも含めて、合宿地になるかは未知数ですが、そのあたりも含めて街づくりをやっていこうという中身になります。</p> <p>そういった意味での女子アスリートの応援ということです。</p> <p>どうしてもスポーツ施設が、みゆき公園もそうなんでしょうけれども男性目線での整備がしてあったりとうことが見受けられたので、女子アスリートの声を聞きながら変えていくというのも施策に入っています。</p>
委員	<p>みゆき公園の野球場に女子トイレがなかったとか言っていたような気がします。</p>
事務局	<p>まさに、そういう部分になります。</p> <p>甲子園のグラウンドに女性は入れないとかいったことが以前はありましたので、野球は男がするものというような固定観念が昔はありましたので。</p> <p>今は、見に来られる方も、プレーする方もいらっしゃいますので、そういった関連を整備していく事業ということになります。</p>
委員	<p>スポーツの「新たなスポーツとの関わりを創造します」という項目のところで、大会誘致とか合宿誘致とかがあるとおもうんですけども。合宿をすると、どうしても宿泊を伴うわけですけども、合宿なので宿泊費用が非常に安くなりがちで、旅館の経営からするともう少し単価を上げたいという話があるんですね。旅館経営者から言うと、燃料費なんかも上がっている中で、合宿についてももう少しいただきたいというのが本音のようです。</p> <p>それでも来ていただけるのかというところがあると思います。スポーツ施設としては、嬉野は充実しているほうなので、それをどう活用していくかと言うところだと思います。</p> <p>みゆき公園は高速のICからすごく近いですよ。そうすると夏場なんかは日が長いので、長崎県なんかから借りにこられるんですね。そういう状況もあるので、経費がどうなるかは分からないですけども、ナイター設備なんかをやれば集客に繋がると思います。</p> <p>近隣でサッカーの大会なんかをやると嬉野はすごい人気です。温泉はあるし、料理もちゃんとしたものがあるし。そういった大会にでていた子ども達が、大きくなっても嬉野温泉に行きたいというふうに繋がってくるので。</p> <p>旅館も経営が変わったり、廃業したりとかで現実的に合宿を受け入れるようなところが減ってきています。そのあたりも考慮して欲しいなどは思います。</p>
委員	<p>団体で受入可能なところですか。</p>
委員	<p>そうです。どうしても団体で低価格となると。</p> <p>今度の国民スポーツ大会もどうなるのか、受入配分なんかも今から決まっていくのでしょうか。</p>
委員	<p>旅館さんにとって、団体客というのは嬉しいだけかと思っていましたが、そうでもないんですね。</p>
委員	<p>そうですね。どうしても価格が。</p>

事務局	<p>以前、日本代表などに合宿をしてもらったこともあります。そのときも単価は高くはなかったですね。一般客よりかなり低い単価のなかで栄養管理とかもしないといけないとなると厳しいのかなと思います。</p>
委員	<p>体育協会のなかに誘致の協議会があるんですけども、そこにも旅館が負担金を出しています。そういうところから、補助金というか補填してくれればいいんじゃないかとは思いますがね。</p> <p>価格を上げられるようであれば上げたいし、上げられなければ補填をどうにかというところですね。</p>
事務局	<p>そうですね。確認したいと思います。</p>
議長	<p>そのほかいかがでしょう。</p>
委員	<p>学校教育のところで、大学進学への支援があればいいなど。お金を出すのは難しいかもしれないので、例えば無利子にするとか。</p> <p>あとは、生涯学習のところで情報とか金融リテラシーとかを充実すると、市民の生活の質が上がるのかなと。学校教育にあまり無いところなので、そういうところをやってほしいと思います。</p>
事務局	<p>それは学校教育のほうでもですか。</p>
委員	<p>学校教育に入れてよいことなのかはよく分からないのですが。</p>
委員	<p>嬉野市では、生きる力の教科書と言うのを作成していて、その中に今まで学校では習えなかった金融の知識だったりハラスメントの知識だったり、感染症なんかもありますけれども、多岐にわたっています。だいたい6年生から中学2年生ぐらいまでで学ぶようにしているんです。</p> <p>全国からも見に来られますし、改訂も行って使っています。時代に合わせた改訂が行われています。</p>
委員	<p>学校教育はあるということなので、大人も学ぶ機会が作れたらと思います。大人の悩みって、例えば保険のこととか、決裁の方法とか、どのカードがいいのかとか、これは子どもの段階ではあまり必要ないかと思うんですが、大人にとっては大きな問題だと思うんです。</p> <p>新電力のこととか、携帯会社のこととか、市のYOUTUBEなんかを活用して動画を流すようなことでもいいんですけど、嬉野市内で選べる選択肢を教えるようなことで、市民の生活の質が上がってくるのかなと思います。</p> <p>子ども向けのものはあるということでしたけれども、ITと金融のリテラシーに関しては大人向けのものもあってもいいんじゃないかと思っています。</p>
事務局	<p>生涯学習のなかで取り組めるとしますので、担当課と協議したいと思います。</p>
議長	<p>生涯学習のところで、「外国人材への日本語教育の推進・教育機関の誘致」というのがありますが、原状としての課題がどのようなものかと、どんなことをやろうとしているかと言うのを補足していただければと思います。</p>

事務局		<p>現在、コロナとかもありますが多くの方の外国籍の方が嬉野市でも働いておられます。多文化共生という分野に力を入れていこうということもあって、在留外国人の方との交流活動というのが実際始まっています。</p> <p>災害等もありますので、命を守るという意味でも情報発信で全ての言語に対応できるわけではありませんので「やさしいほんご」での発信など、行政の中でも認識を深めていっています。</p> <p>その中で「カフェこくさいじん」というのをやっていて、一つのコミュニティになっていますが、新しくやってきた方にも輪に入ってもらって嬉野での生活を充実したものにしていただければと思っています。</p>
議長		<p>具体的な問題があって、日本語の教育機関を誘致したいというわけではないんですか。</p>
事務局		<p>市長の公約として、観光・医療・農業・製造業といった分野で既に欠かすことの出来ない人材として多くの外国人の方たちが働いておられ、そういった方たちのために、日本語の理解を深められるように、日本語教育機関の誘致をしていきたいというふうに掲げられています。</p> <p>実際に、嬉野での開校を模索するような動きも出ていたこともあります。</p>
議長		<p>ありがとうございます。そのほかありましたら。</p>
委員		<p>学校教育での「ふるさと教育」で子どもたちには「ふるさと」の良さがよく伝わっていることが多いと思いますが、佐賀県全体でいわれるのが「大人」が良さをわかっていないと。子どもたちは、親から「なんもなか」と言われて育っているようなこともあるので、大人がどれくらい認識できるかは分かりませんが、観光の街として大人が自身を持って案内できるような、ふるさとを愛する教育も取り組んでいったほうが良いのかなと思いました。</p>
事務局		<p>新しく住民になった方たちにも地元をもっと知ってもらうことは重要だと思います。</p>
委員		<p>逆に、新しい住民の方たちが素晴らしいところを SNS などで発信していることが多いので、新しい住民の方たちに先生になってもらって、気づきを与えるとよいのかなと思います。それによって、新旧住民の交流にもなるのかなと思います。</p>
委員		<p>地域によってはコミュニティ組織単位などで地区の歴史や史跡をまとめられて、地域の住民の方に配っていたりもしています。</p>
事務局		<p>そういうのが広がっていけばいいですね。歴史だけじゃなくても、地域の方が今まで気づかなかった魅力を新しい住民の視点で見発見していくというようなことが出来ればいいなと思いました。</p>
議長		<p>外から来た人が嬉野を褒める声が地元の人に聞こえてほしいですね。実際、外から来た人と地元の人で街を巡る中で、外から来た人の気づきで褒めることが、地元の人にもささるといふのを見ました。</p>
事務局		<p>県でもやっていますが、移住して来た人の発信を取り上げるのは重要だと思います。</p>

議長	外から来た人の発信の想定は、外にいる人に向けてと思われがちですが、同時に中にいる人たちにも気づきを与えますよね。
委員	細かい取組みでいくと、旅館のオーナーが「暮らし観光」といって、何気ないスーパーだったりとか自転車屋さんだったりとかを案内しています。外から来た人にとっては、お店の人と話すことだけでも新鮮だったりとか、そもそも、地元の人たちでもそういう繋がりの方が少なくなっているのかなと感じます。
事務局	単発で終わらないように、続けていくというのは重要かもしれませんね。
委員	観光面でいくと、お茶畑や街の近くにある轟の滝が人気です。
委員	公園の施設も新しくなって、小さい子でも楽しめるようになっていきます。子育て世代からすると、そういう遊具の情報などは実際行って見ないとわからないので、WEBで見れるような情報発信も重要だと思います。 子ども世代は、お茶の入れ方教室があったりしますが、親世代は逆に地元の文化などに触れる機会が少ないのかなとも思います。子育てサークルの中で、お茶の入れ方を教えてもらったことがあって非常に好評だったので、大人にもそういう機会があればいいなと思います。
委員	観光協会には、何年もかかって作っていただいた、温泉やお茶、街道や塩田津、焼物の歴史などをまとめた本があって販売していますので、利用していただければと思います。
委員	地名一つをとっても、その由来を調べていく中で、大人でも夢中になって色々と想像したりして興味が深まりました経験もあります。
委員	学校教育の中の「徳育」とはどういうものですか。
委員	智・徳・体から来ている言葉で、道徳のようなことです。
議長	それでは次ぎのパートの説明をお願いします。
事務局	4-6の「まちづくり体制」について説明させていただきます。 「人権」のパートは、「LGBTQ+」など時代に合った表現に変えたほか、障がい者スポーツやバリアフリー関連を追加しています。 「男女共同参画」については、「男女共同参画行動計画」の変更がありましたので、そちらの内容にしたがって変更を加えています。 「住民自治・住民参画」は、防災に関することなどを追加しています。 「行政計画・広報・広聴」については、これまで行政計画だけだったところを、広報や広聴をポイントとして付け加えています。 財政計画については、公用施設の統合化の検討やふるさと納税の推進などを拡充して追加しています。
委員	人権のところの一人ひとりの役割が、見たかんじ表現が重いというか難しすぎると感じます。もっと表現としてやさしい感じになればと思います。
議長	ここは、総合計画がどうしても難しく捉えられがちなので、一人ひと

		<p>りができることを分かりやすくするために作られている箇所なので、もう少し分かりやすくできればと思います。</p>
事務局		<p>表現を見直してみたいと思います。</p>
委員		<p>義務感が出すぎてしまうと、押し付けではないですけど、見る側も構えてしまって内容が入りづらくなるのかなと思います。まずは、人権意識を持つというぐらいが分かりやすいのではないのでしょうか。</p>
事務局		<p>わかりました。</p>
委員		<p>男女共同参画のところで、SDGsの目標などは「ジェンダー」というような表現なのに、ここで「男女」で区切ってしまうとどうなのかなと感じました。</p>
委員		<p>今言われたことと少し違うかもしれないですが、感覚として「男女共同参画」と言われても、何のことなのか直感的に内容を理解するのが難しいような気がします。良く聞く言葉ではあるんですけども。</p>
事務局		<p>言われていることは、非常に理解出来ます。しかし、この項目の個別計画の名称自体に「男女共同参画行動計画」とあるように、ある種の行政用語なのかなと思います。言われていたような中身で実行していくよりほか方法がないのかなと思います。</p>
議長		<p>ここでは、市民共同参画とか広く平等にというより、女性の社会的なハンデを無くすとか、女性活躍を狙っている項目なのかなと思います。</p>
事務局		<p>中身としては、ライフワークバランスや雇用面での女性不利にならないようにということだと思います。内閣府の中にも男女共同参画局というのがありますので、国でも使っている言葉かなと思います。</p>
委員		<p>時代の変化で、ぴんとこないような感じにはなってきていると感じます。</p>
委員		<p>研修などを受けると、女性の皆さんは不平等とかはあまり感じておられませんが、中には弱い立場の女性もいると思いますので。</p>
委員		<p>男女の差というものもありますので、お互い尊重できる社会になるといいと思います。</p>
事務局		<p>ここについては、LGBTQ+とか新しい言葉が出てきたり、最初の性別と違う性に変更される方などもいる中で、筋力の差だったり行動様式の差だったりというところで、そもそも性別を分けた言い回し自体が時代にそぐわなくなってきているのかなとは思いますが、この部分で意図しているのは旧来からある弱い立場に置かれた女性の待遇改善や女性の活躍を進めたいということだと思います。これまでの日本の取組みの歴史から、男女共同参画という言葉が残っていると思いますが、本質を見失わないようにやっていければと思います。</p>
委員		<p>「男女共同参画の視点に立った防災対策の推進」というのが今回追加されているのですが、何か具体的な取組みなどがあるのですか。</p>

事務局	避難所など大規模災害の時での女性への配慮というのは、今までの行政の視点から言うと欠けていたのかなと思います。熊本地震などでも指摘されていたように、大規模災害では行き届かないことがあるので、事前に準備をしておく必要があるのかなと思っています。
委員	昨年8月の豪雨のときに、各避難所を見て回ったことがありましたけれども、やっぱり女性の視点を要れた避難所運営というのをやる必要があるなと感じました。
議長	そのほかいかがでしょうか。
委員	行政計画・広報・広聴のところで「市政相談・行政相談の充実」とありますが、市政相談と行政相談は同じようなことではないでしょうか。
事務局	内容は同じだと思いますので「行政相談の充実」と表現したいと思います。
委員	18歳成人になったときに、ローンが組めるようになってトラブルが起きたりとか問題が起こる可能性があると思うんですが、そのあたりの課題の取りまとめとかはないんですか。
委員	前回の回覧板で注意のチラシが回っていたようです。
事務局	当然、そういう問題も起こってくると思いますが、総合計画の中に標記するかと言ったところが。
委員	標記するかは考える必要があると思いますが、問題は出てくるのかなと思います。
事務局	生涯学習の箇所ですてきました、金融リテラシー教育のようなところで対応できればと思います。
議長	成人前ですので、学校教育でも教える必要があるのかなと思います。
議長	では、無いようですので次に移りたいと思います。分野横断政策について説明をお願いします。
事務局	分野横断政策については、4つのプロジェクトに分かれています。このプロジェクト自体は、前期計画や基本構想の中で決まっていますので大きく変えることが出来ない部分になります。 その中で、「嬉野創生プロジェクト」については、女性の活躍推進という項目を追加しています。 「健康長寿プロジェクト」については、コロナウイルスへの対応を意識して標記する施策を追加しています。 「国際戦略プロジェクト」についても、コロナウイルスへの対応というところで、アフターコロナに向けて項目を少し変更しています。 「ひとにやさしいプロジェクト」では、豪雨災害などもありましたので、「安心・安全で誰一人とり残さないまちづくりの推進」という項目を追加させていただいています。 関連する主な施策については、全て書きたいところですがスペースの関係もありますので関連する施策の一部を記載しています。 4つのプロジェクトが目指すべき街の実現にとって必要ということ

	<p>で、各分野の施策に横串をさすようなかたちで、携わる職員一人ひとりが意識しながら施策を実行できればという思いで作成しております。</p>
議長	<p>では、分野横断政策についてご意見ご質問いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>プロジェクト中の各施策については、先ほどご議論いただいた分野別施策と同じ内容となります。</p>
委員	<p>1月にあった選挙じゃないですけども、選挙権が18歳以上になっていますので、各議員さんを知る機会であるとか施策を知る機会のようなものはあるんでしょうか。関心を高めるといふか、関心を持つ機会のような。この計画とは関係ないかもしれませんが、もうちょっと議員さんを身近に感じるといふか、知る事が出来ればと思います。</p>
事務局	<p>選挙に関しては選挙管理委員会の、議員さんのことに関しては嬉野市議会の管轄になります。どちらも市役所の職員が勤めているわけですけども、市役所の行政計画とは別のものになります。</p> <p>例えば、市の方から議員さんたちのことについてフォーカスして発信するのはなかなか難しく、平等にするにしてもですね。あくまで行政として出来るのは、決まりの範囲内で選挙公報を出すとかいうことになると思います。議員さん個人個人の活動の中ではやられていると思いますが。</p> <p>市政に関心を持ってもらうことなどはもちろん取組みとして広報していけないといけないところだと思います。</p>
委員	<p>色々な委員会をやっていて、パブリックコメントなどもされている中で、なかなか市民の声が上がってこないということもあるので、市政に関心を持ってもらうような取組みをして、市民がもっと参画したかたちで計画などができていけばいいなと思いました。</p>
議長	<p>分野横断政策につきまして、他に何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>戻りますが、人権のところ、相手の背景を想像するとか、自分のことを大切にするとかいうことを入れてもらえたら、もうすこし柔らかくなるのかなと思いました。</p>
事務局	<p>わかりました。</p>
議長	<p>何か、全体を通して言い残したことなどがあればお願いします。</p> <p>それではよろしいでしょうか。</p> <p>はい。それでは今回の検討はここまでとします。</p>
その他	<p>なし</p>